

第5次南国市総合計画 策定にかかるアンケート調査 結果報告書

—概要版—

目次

I	アンケート調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査概要	1
3	報告書の見方	1
II	アンケート結果の概要	2
1	回答者の属性	2
2	市の施策について	6
3	愛着や定住意向について	9
4	若者のまちとの関わりについて	13
5	これからのまちづくりについて	16
6	その他 市民のまちづくりに関するご意見（自由記述）	22

令和7年2月

高知県南国市

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、総合計画の策定にあたり、これからのまちづくりについて、市民や中高生、中学生保護者の皆様のご意見をお伺いし、計画づくりの参考とさせていただくことを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	市民	中学生調査	中学生保護者調査	高校生調査
調査対象者	市内在住の18歳以上	市内在住の中学3年生	市内在住の中学3年生の保護者	市内在住の高校2年生（高専2学年）
調査期間	令和6年10月1日～10月31日	令和6年10月1日～10月31日	令和6年10月1日～10月31日	令和6年10月1日～10月31日
調査方法	郵送配布・郵送回収およびWEB回答による本人記入方式	WEBによる本人回答方式		
配布数	3,000件	314件※	314件※	749件※
有効回収数	976件	194件	34件	444件
有効回収率	32.5%	61.8%	10.8%	59.3%

※概数。用紙・メールによる配付を行っており、メールの着信を確認したものではない。
また、生徒から保護者へ届かない、双子で保護者への配付が重複するなどが有りうるため。

3 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

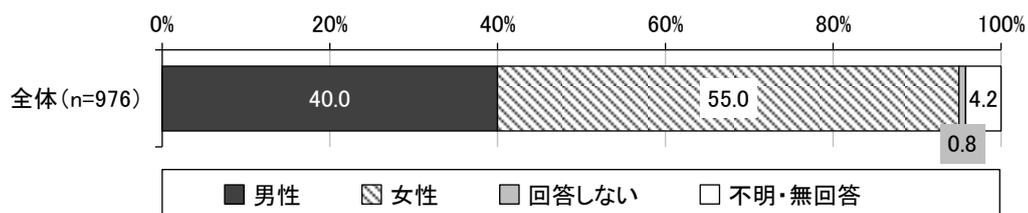
Ⅱ アンケート結果の概要

Ⅰ 回答者の属性

【市民】あなたご自身のことについて（単数回答）

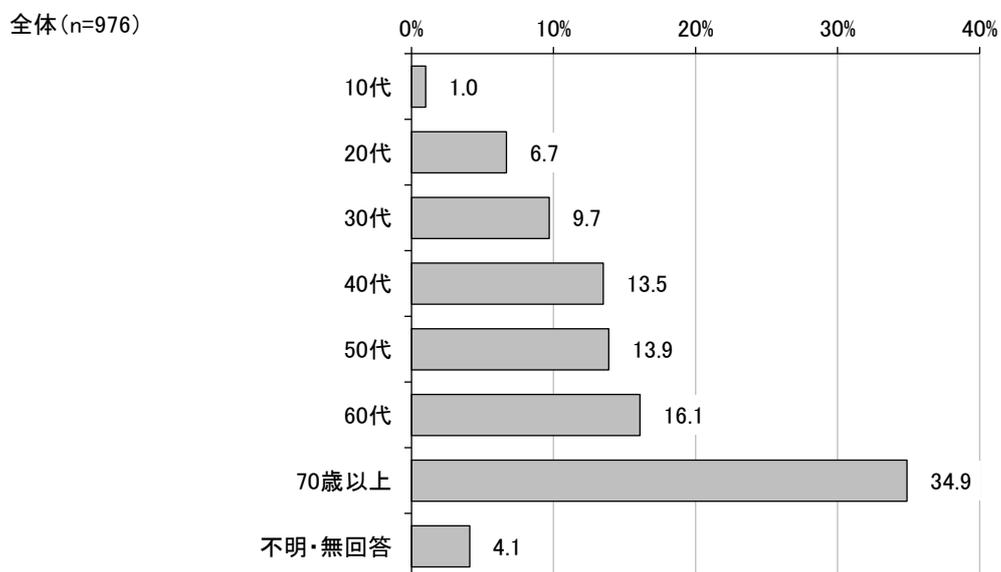
（1）性別

「女性」が55.0%と最も高く、次いで「男性」が40.0%、「回答しない」が0.8%となっています。年齢別にみると、すべての年齢で「女性」が最も高くなっています。



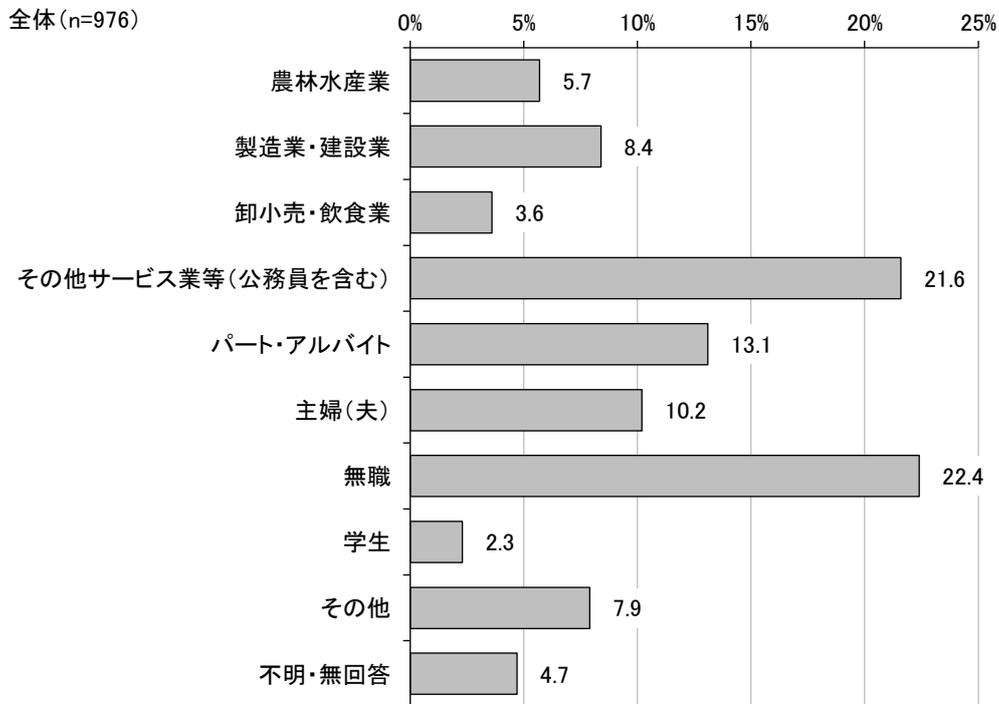
（2）年齢

「70歳以上」が34.9%と最も高く、次いで「60代」が16.1%、「50代」が13.9%となっています。



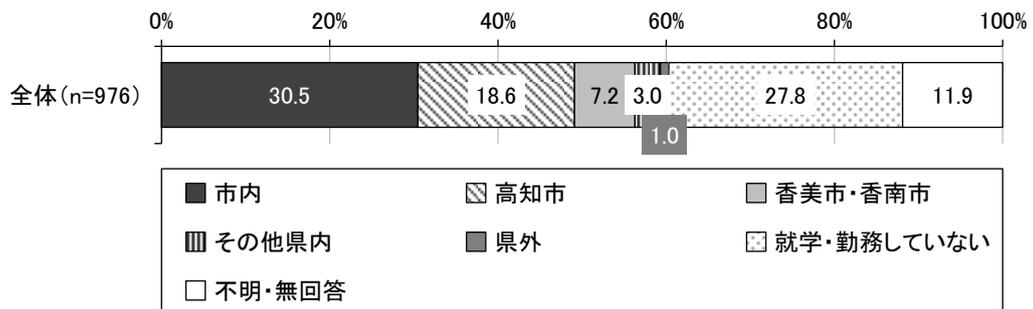
(3) 職業

「無職」が22.4%と最も高く、次いで「その他サービス業等（公務員を含む）」が21.6%、「パート・アルバイト」が13.1%となっています。



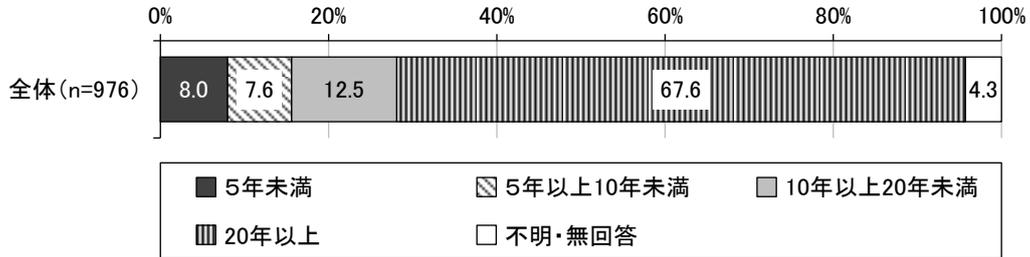
(4) 就学先・勤務先

「市内」が30.5%と最も高く、次いで「就学・勤務していない」が27.8%、「高知市」が18.6%となっています。



(5) 居住年数

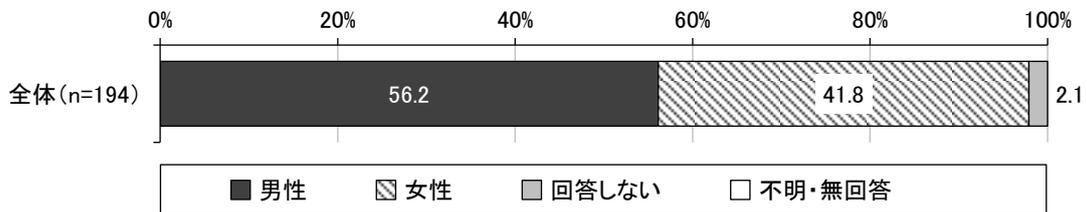
「20年以上」が67.6%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が12.5%、「5年未満」が8.0%となっています。



【中学2年生】あなたご自身のことについて（単数回答）

(1) 性別

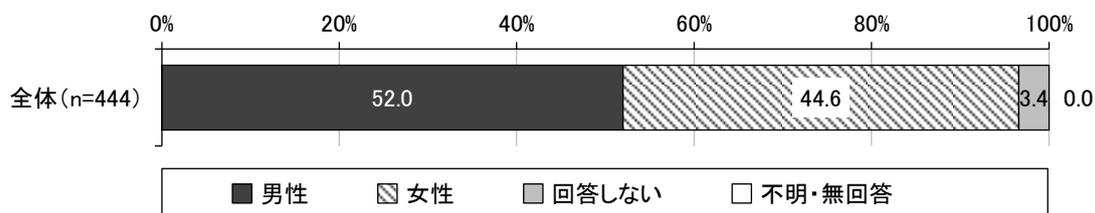
「男性」が56.2%と最も高く、次いで「女性」が41.8%、「回答しない」が2.1%となっています。



【高校2年生】あなたご自身のことについて（単数回答）

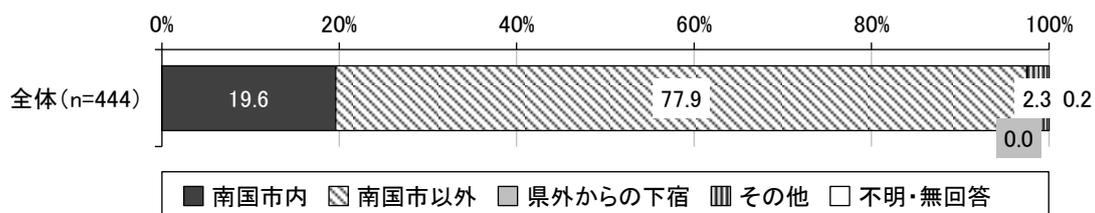
（1）性別

「男性」が52.0%と最も高く、次いで「女性」が44.6%、「回答しない」が3.4%となっています。



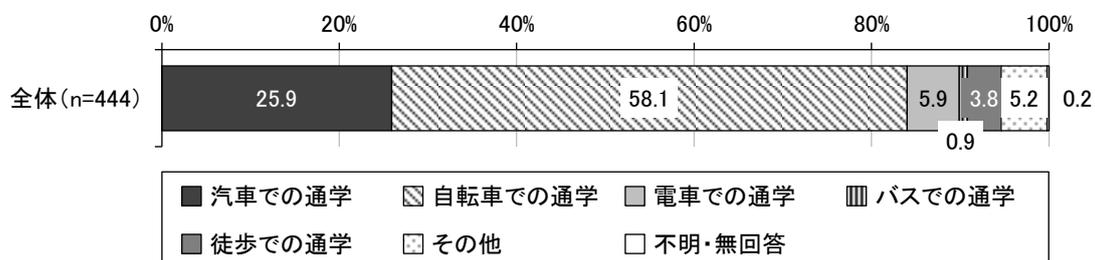
（2）通学場所

「南国市以外」が77.9%と最も高く、次いで「南国市内」が19.6%、「その他」が2.3%となっています。



（3）通学方法

「自転車での通学」が58.1%と最も高く、次いで「自動車での通学」が25.9%、「電車での通学」が5.9%となっています。



2 市の施策について（ポートフォリオ）

市の各施策について、現在どの程度満足しているか・今後どの程度重視しているかを把握するため、南国市総合計画に基づいた5分野35項目について、5段階で評価してもらいました。その結果を加重平均値による数量化で評価点（最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度・優先度）を算出する。

この算出方法により、評価点（満足度・優先度）は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられます。

算出式

満足度＝

（「満足」の回答者数×10点＋「やや満足」の回答者数×5点＋「普通」の回答者数×0点
＋「やや不満」の回答者数×-5点＋「不満」の回答者数×-10点）

÷

（「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の回答者数）

優先度＝

（「優先」の回答者数×10点＋「やや優先」の回答者数×5点＋「普通」の回答者数×0点
＋「あまり優先ではない」の回答者数×-5点＋「優先ではない」の回答者数×-10点）

÷

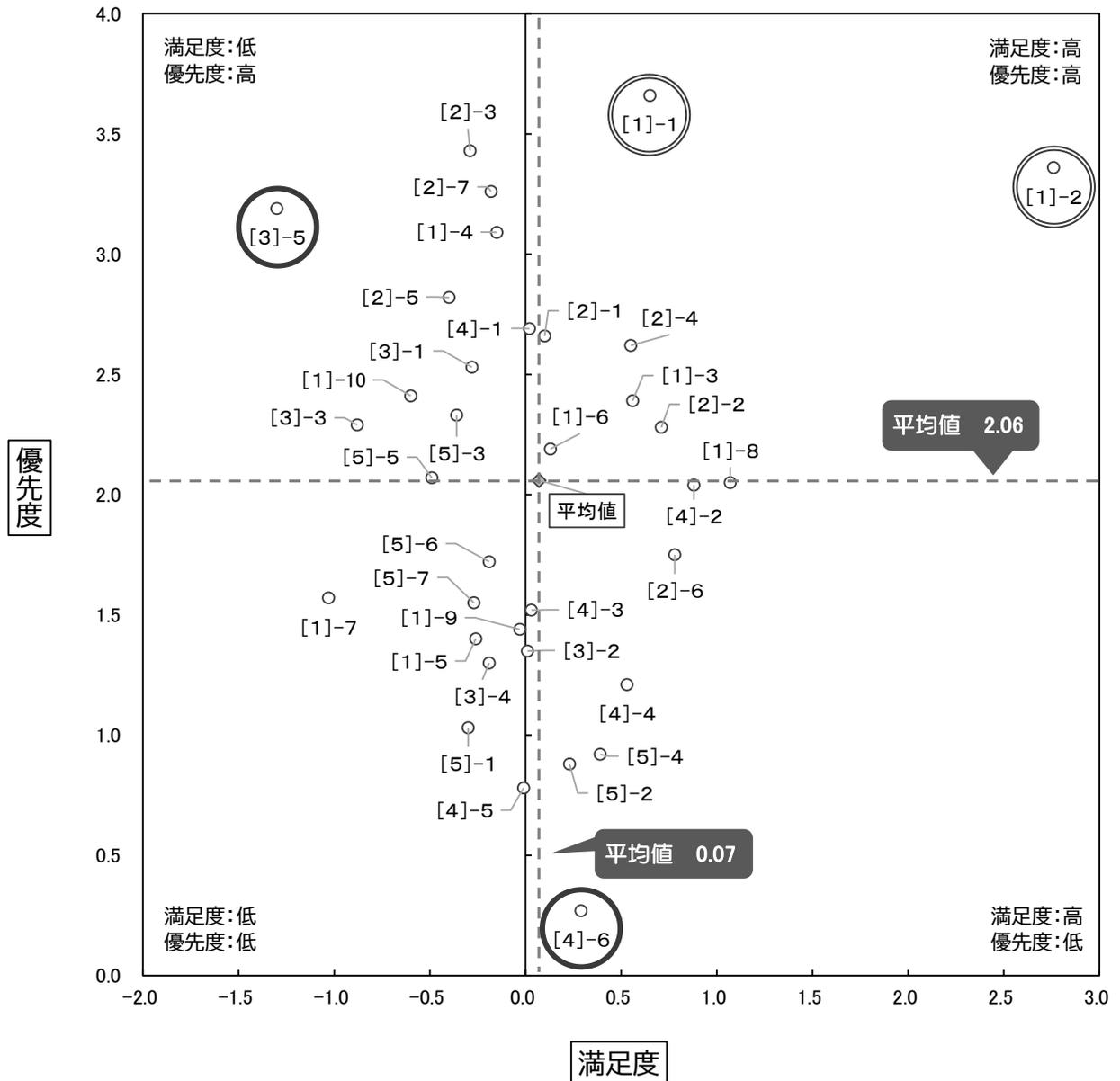
（「優先」、「やや優先」、「普通」、「あまり優先ではない」、「優先ではない」の回答者数）

ポートフォリオを見るとき考え方

重要度が高く、満足度が低い	重要度が高く、満足度も高い
取組を 強化・拡大する必要があるもの	住民ニーズに 応えられているが、 更なる取組の充実が求められるもの
重要度が低く、満足度も低い	重要度が低く、満足度は高い
必要に応じて 検討するもの	住民ニーズに 応えられており、 引き続き取り組んでいくもの

市民の満足度についてみると、[[1] 安全・安心のまち 2 消防・救急体制の充実]が2.76と最も高く、[[3] 産業・交流のまち 5 雇用対策の推進]が-1.30と最も低くなっています。

市民の優先度についてみると、[[1] 安全・安心のまち 1 防災対策・防災体制の強化]が3.66と最も高く、[[4] 教育・文化のまち 6 友好都市との交流促進と多文化共生体制の充実]が0.27と最も低くなっています。



[3]産業・交流のまちの施策満足度は、5項目すべてで平均値を下回っており、そのうち「1 農林水産業の振興」「3 商業の振興」「5 雇用対策の推進」については優先度も高く、特に取組を強化・拡大する必要がある施策です。

		満足度		優先度	
		得点	順位	得点	順位
〔1〕 安全・安心のまち	1 防災対策・防災体制の強化	0.65	6	3.66	1
	2 消防・救急体制の充実	2.76	1	3.36	3
	3 交通安全・防犯・消費者対策の推進	0.56	7	2.39	13
	4 道路・公共交通網の整備	-0.15	20	3.09	6
	5 情報ネットワークの整備	-0.26	24	1.40	27
	6 市街地・住環境の整備	0.13	13	2.19	17
	7 環境保全、景観形成と公園・緑地の整備	-1.03	34	1.57	23
	8 上下水道の整備	1.07	2	2.05	19
	9 廃棄物処理とリサイクルの推進	-0.03	19	1.44	26
	10 計画的な土地利用	-0.60	32	2.41	12
〔2〕 健康・福祉のまち	1 地域福祉の充実	0.10	14	2.66	9
	2 子育て支援の充実	0.71	5	2.28	16
	3 高齢者支援の充実	-0.29	27	3.43	2
	4 障害のある人への支援の充実	0.55	8	2.62	10
	5 社会保障の充実	-0.40	30	2.82	7
	6 健康・保健活動の充実	0.78	4	1.75	21
	7 地域医療体制の充実	-0.18	21	3.26	4
〔3〕 産業・交流のまち	1 農林水産業の振興	-0.28	26	2.53	11
	2 企業立地及び経営の支援	0.01	17	1.35	28
	3 商業の振興	-0.88	33	2.29	15
	4 観光の振興	-0.19	22	1.30	29
	5 雇用対策の推進	-1.30	35	3.19	5
〔4〕 教育・文化のまち	1 学校教育の充実	0.02	16	2.69	8
	2 地域教育の充実と青少年健全育成の推進	0.88	3	2.04	20
	3 生涯学習の推進とスポーツ活動の充実	0.03	15	1.52	25
	4 文化活動・文化財保護活動の充実	0.53	9	1.21	30
	5 人権対策・男女共同参画の推進	-0.01	18	0.78	34
	6 友好都市との交流促進と多文化共生体制の充実	0.29	11	0.27	35
〔5〕 協働・連帯のまち	1 市民参画・協働の推進	-0.30	28	1.03	31
	2 地域コミュニティ活動の充実	0.23	12	0.88	33
	3 定住・移住の促進	-0.36	29	2.33	14
	4 情報公開と広報広聴の充実	0.39	10	0.92	32
	5 行政運営の充実	-0.49	31	2.07	18
	6 財政運営の充実	-0.19	22	1.72	22
	7 広域行政の推進	-0.27	25	1.55	24

3 好感や定住意向について

【好感】南国市に対して「自分のまち」としてどのくらい好きか（単数回答）

（市民）

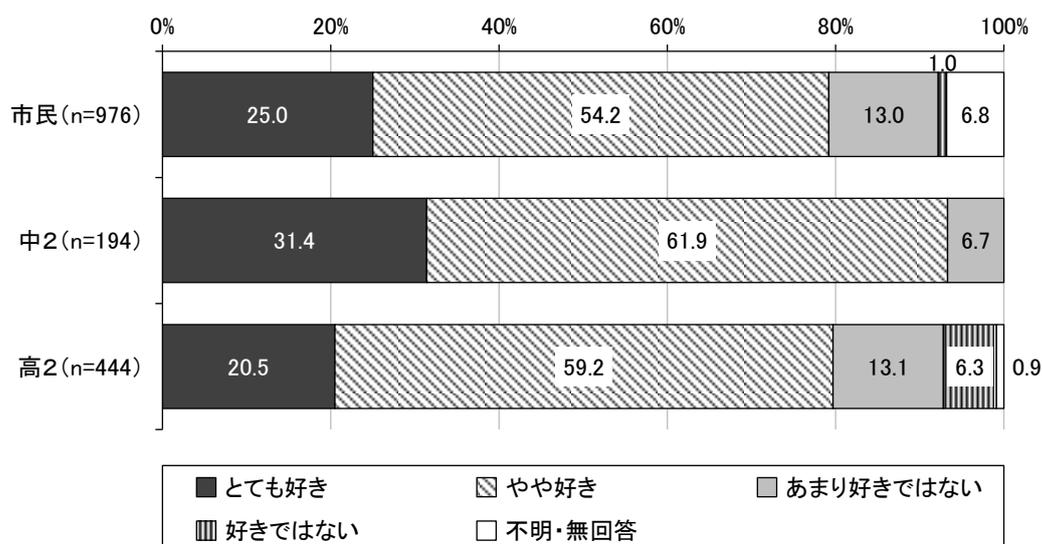
「やや好き」が54.2%と最も高く、次いで「とても好き」が25.0%、「あまり好きではない」が13.0%となっています。

（中学2年生）

「やや好き」が61.9%と最も高く、次いで「とても好き」が31.4%、「あまり好きではない」が6.7%となっています。

（高校2年生）

「やや好き」が59.2%と最も高く、次いで「とても好き」が20.5%、「あまり好きではない」が13.1%となっています。



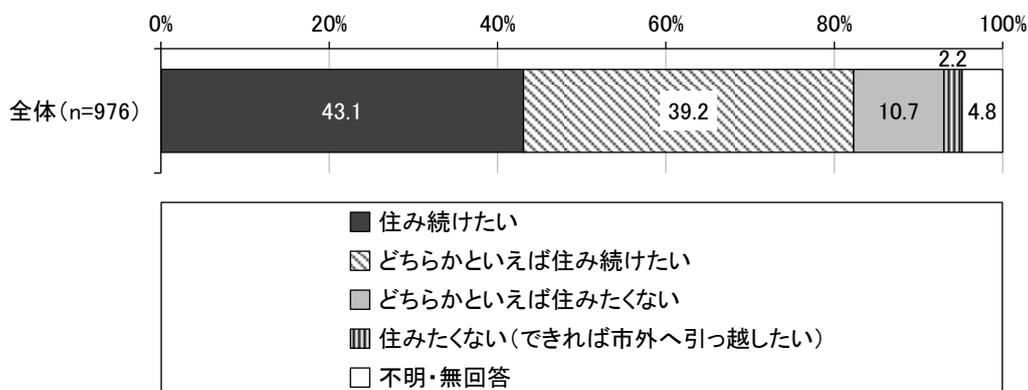
中学2年生では、南国市を「とても好き」と回答している生徒は3割で、「やや好き」と合わせると9割以上の生徒が、自分のまちとして“好き”と感じています。

市民においても、4人に1人が「とても好き」と回答しています。

7割以上が南国市外から通学している高校2年生も、「とても好き」「やや好き」を合わせると約8割が“好き”と回答しており、南国市に住んでいる・通学している市民や生徒からの好感は高いことがうかがえます。

【市民の定住意向】 これからも南国市に住みたいか（単数回答）

「住みたい」が43.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みたい」が39.2%、「どちらかといえば住みたくない」が10.7%となっています。



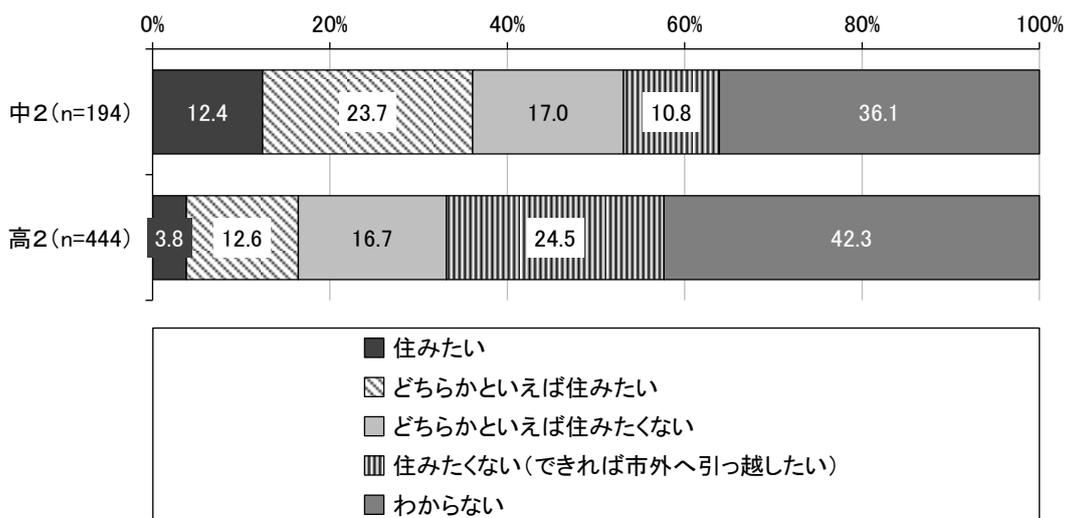
【若者の定住意向】 将来南国市に住みたいか（単数回答）

（中学2年生）

「わからない」が36.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みたい」が23.7%、「どちらかといえば住みたくない」が17.0%となっています。

（高校2年生）

「わからない」が42.3%と最も高く、次いで「住みたくない(できれば市外へ引っ越したい)」が24.5%、「どちらかといえば住みたくない」が16.7%となっています。



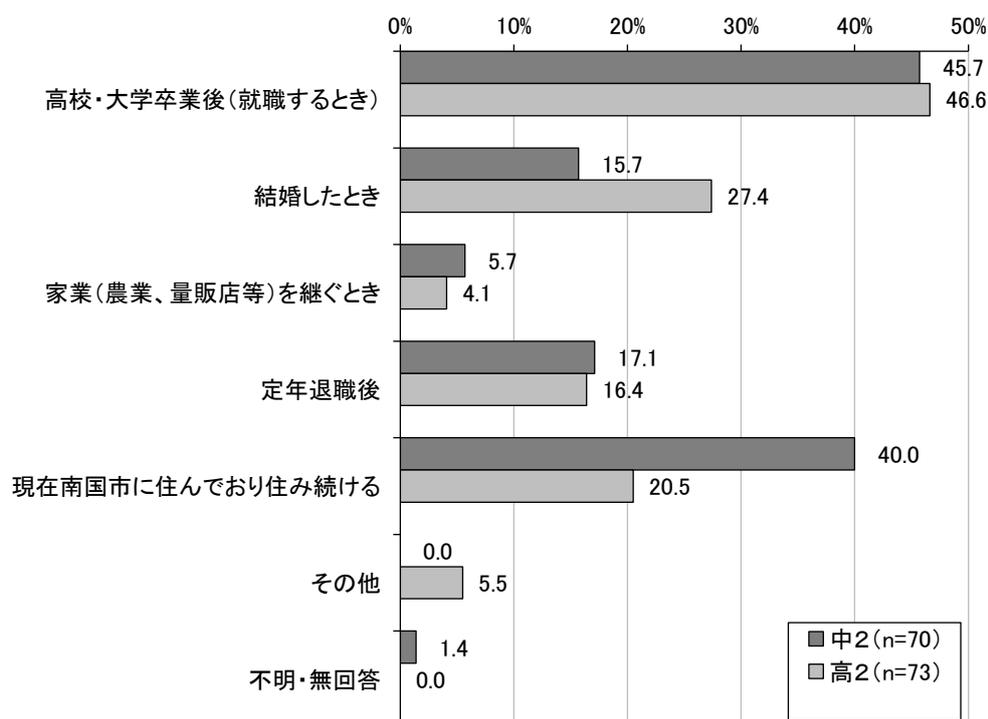
【若者の定住希望時期】 その時期はいつ頃か（単数回答）

（中学2年生）

「高校・大学卒業後（就職するとき）」が45.7%と最も高く、次いで「現在南国市に住んでおり住み続ける」が40.0%、「定年退職後」が17.1%となっています。

（高校2年生）

「高校・大学卒業後（就職するとき）」が46.6%と最も高く、次いで「結婚したとき」が27.4%、「現在南国市に住んでおり住み続ける」が20.5%となっています。



市民の定住意向は、「住み続けたい」が4割を超えており、「どちらかといえば住み続けたい」と合わせると8割を超える人の定住意向があります。

一方で、9割以上の生徒が、自分のまちとして“好き”と感じていた中学2年生では、将来「住みたい」生徒は1割、「どちらかといえば住みたい」と合わせると3.5割程度となっています。

友人や先生との関係、思い出の場所などの抽象的なまちへの愛着はあるものの、具体的に生活する場合の意向をみると、「わからない」「住みたくない」といった傾向が強みられます。

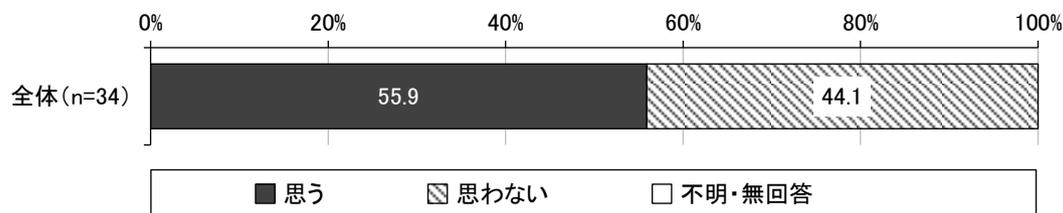
高校2年生でも同様に、抽象的な“好き”と、具体的に生活する場合の意向は乖離があることから、就職や結婚といった、自身の生活拠点を決める段階で候補として挙がるようなまちづくりの検討が必要です。



【参考】

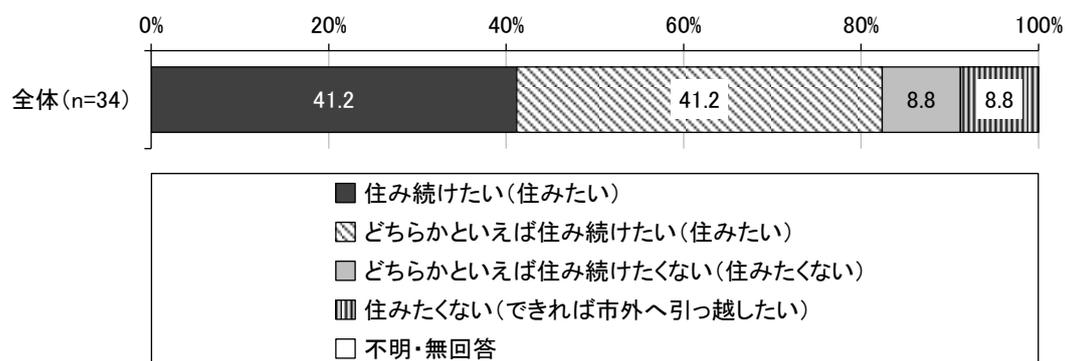
(中学3年生保護者) 将来、お子さんに南国市に戻ってきてほしいか (単数回答)

「思う」が55.9%、「思わない」が44.1%となっています。



将来南国市に住みたいか (単数回答)

「住み続けたい (住みたい)」「どちらかといえば住み続けたい (住みたい)」が41.2%、「どちらかといえば住み続けたくない (住みたくない)」「住みたくない (できれば市外へ引っ越したい)」が8.8%となっています。



4 若者のまちとの関わりについて

【将来的な南国市との関わり】

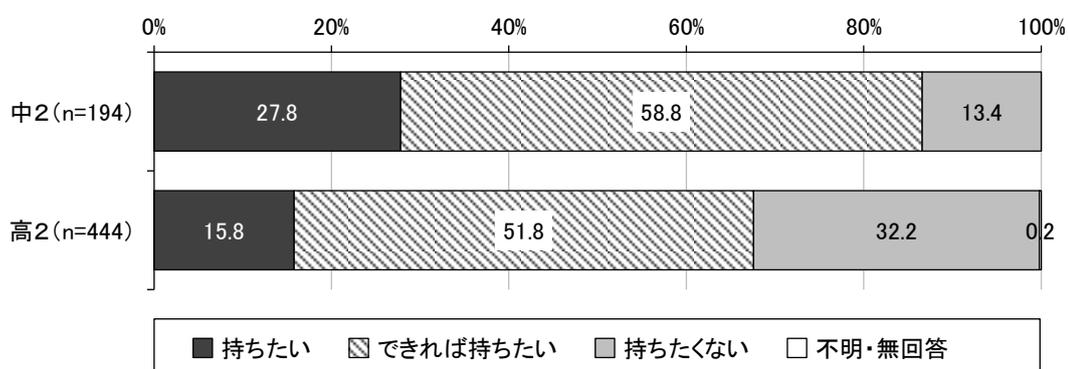
将来、南国市外に居住した場合であっても、南国市と何らかのかかわりを持ちたいか（単数回答）

（中学2年生）

「できれば持ちたい」が58.8%と最も高く、次いで「持ちたい」が27.8%、「持ちたくない」が13.4%となっています。

（高校3年生）

「できれば持ちたい」が51.8%と最も高く、次いで「持ちたくない」が32.2%、「持ちたい」が15.8%となっています。



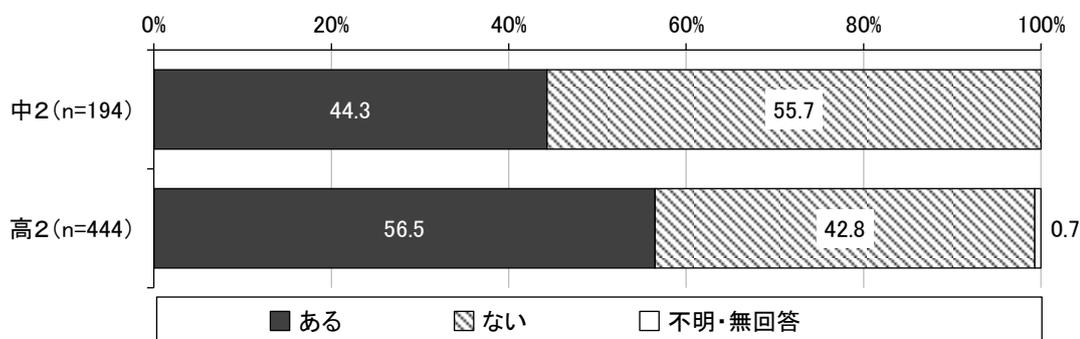
【やってみたい仕事の有無】（単数回答）

（中学2年生）

「ある」が44.3%、「ない」が55.7%となっています。

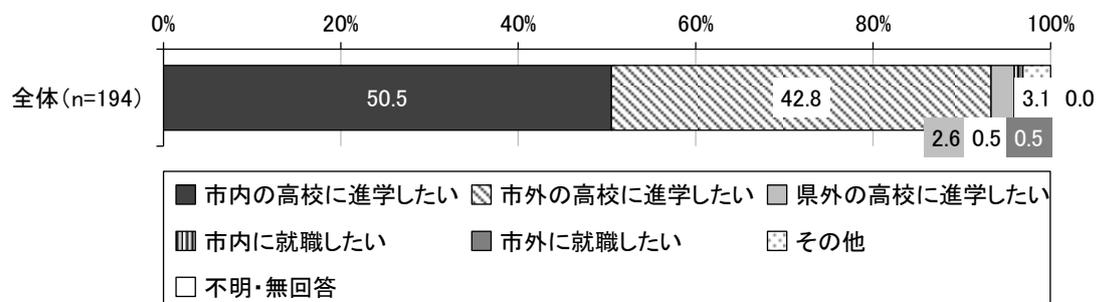
（高校2年生）

「ある」が56.5%、「ない」が42.8%となっています。



【中学校卒業後の進路希望先】（単数回答）

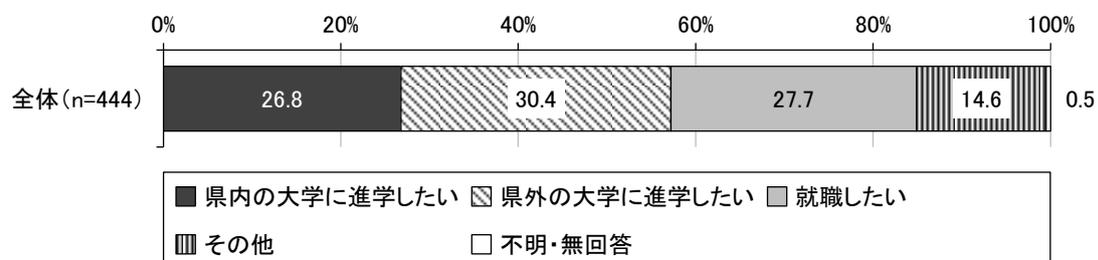
「市内の高校に進学したい」が50.5%と最も高く、次いで「市外の高校に進学したい」が42.8%、「その他」が3.1%となっています。



【高校卒業後の進路希望先】

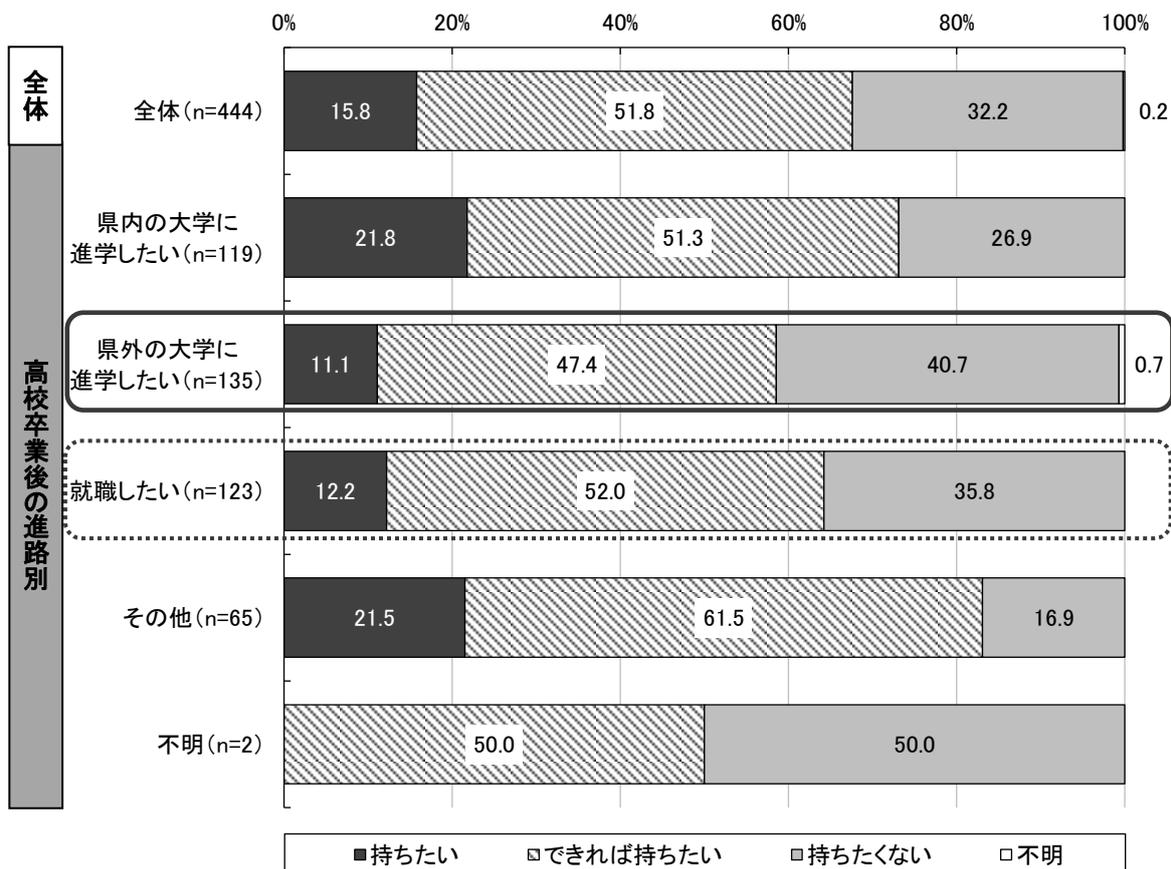
高校卒業後の進路について（単数回答）

「県外の大学に進学したい」が30.4%と最も高く、次いで「就職したい」が27.7%、「県内の大学に進学したい」が26.8%となっています。



将来的な南国市との関わり×高校卒業後の進路について（単数回答）

将来的な南国市との関わりと高校卒業後の進路の関係をみると、県外の大学進学を希望している生徒の40.7%、就職を希望している生徒の35.8%は、将来的な南国市との関わりを「持ちたくない」と回答しています。



若者のまちとの関わりとして、中学2年生は「持ちたい」が「持ちたくない」を上回っているのに対し、高校2年生は「持ちたくない」が「持ちたい」を上回っています。

中学2年生の進路希望として、高校までは市内を希望している生徒が半数いる一方で、3割の高校2年生が、高校卒業後は県外の大学を希望しています。

県外への大学進学や就職を希望している生徒の多くは、一人暮らしや自分で稼ぐといった、社会的自立や経済的自立につながります。

それらを希望する生徒は、慣れ親しんだ地元や親元を離れ多くの挑戦や経験を求めていることから、南国市との将来的な関わりに消極的な傾向がみられると推察されます。

5 これからのまちづくりについて

【人口減少に対する不安】（単数回答）

（市民）

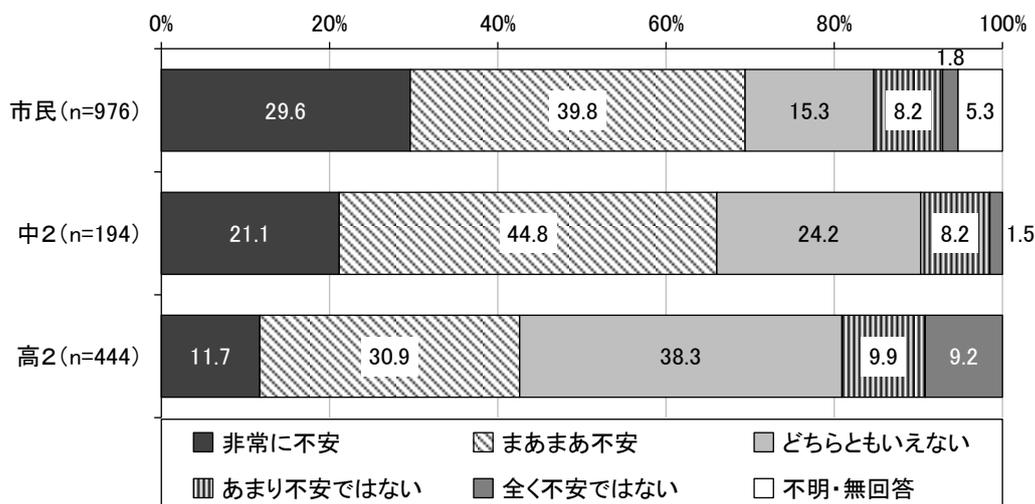
「まあまあ不安」が39.8%と最も高く、次いで「非常に不安」が29.6%、「どちらともいえない」が15.3%となっています。

（中学2年生）

「まあまあ不安」が44.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.2%、「非常に不安」が21.1%となっています。

（高校2年生）

「どちらともいえない」が38.3%と最も高く、次いで「まあまあ不安」が30.9%、「非常に不安」が11.7%となっています。



市民や中学2年生では、人口減少問題に対する不安が7割近い一方で、高校2年生では4割程度にとどまっています。

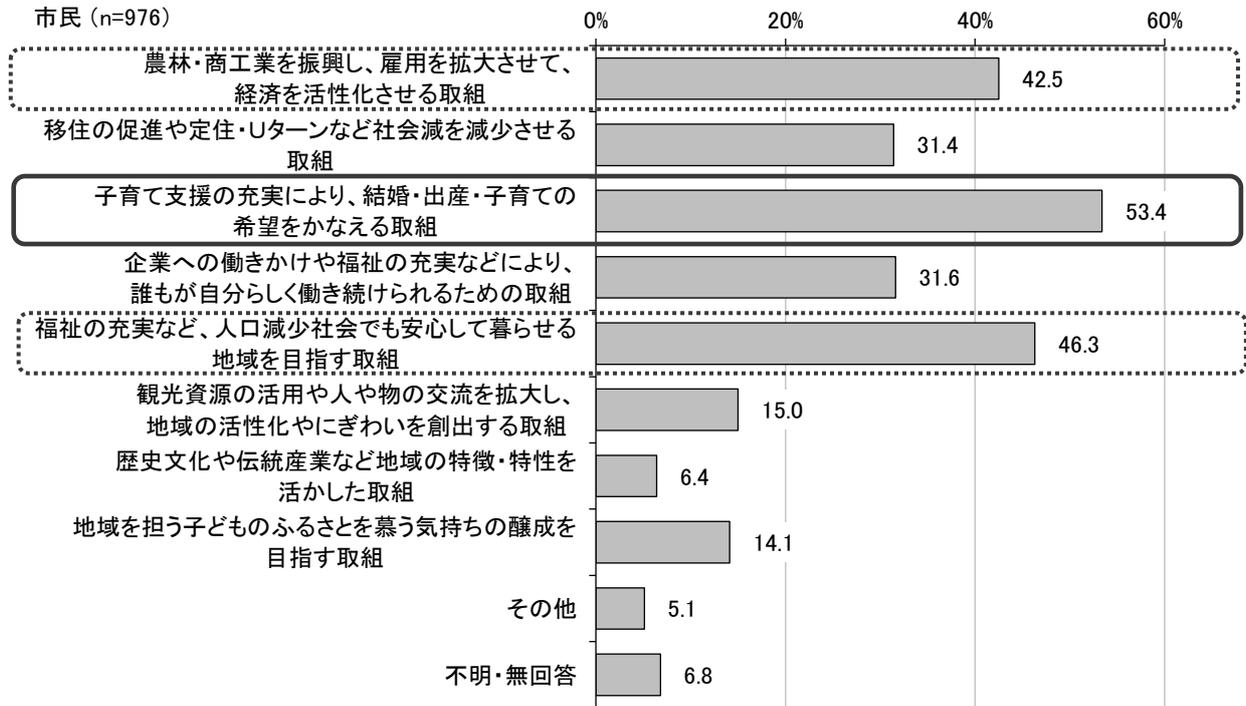
市民や中学2年生の不安は、南国市の人口減少が及ぼす日常生活への影響（税収減による行政サービスの低下、経済の停滞、地域文化や産業の存続困難等）を懸念したためと推察されます。

一方の高校生は、自分の地元ではないことや、自分自身の将来選択を迫られていることなどから、南国市に縛られない視野を持つ傾向にあり、「どちらともいえない」が多くの割合を占めていると考察されます。



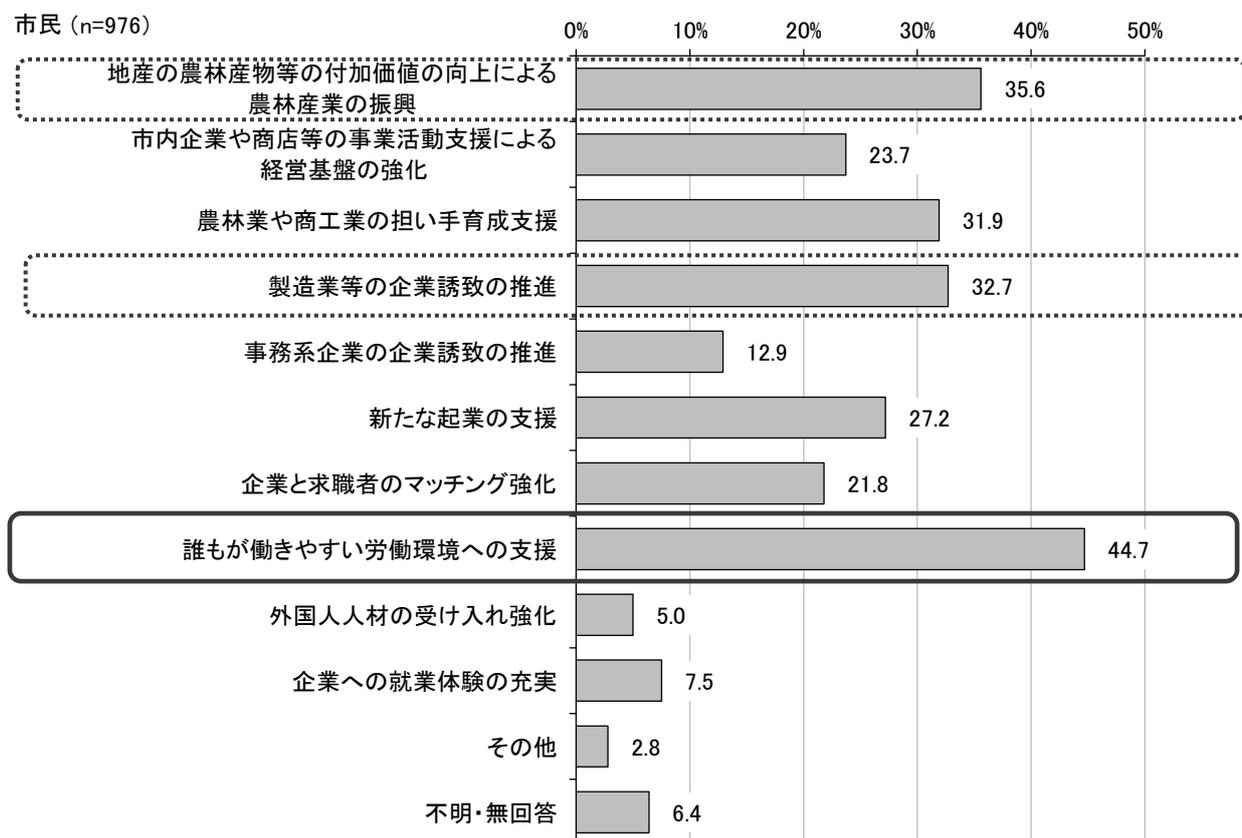
【南国市が今後取り組むべきこと】（複数回答）

「子育て支援の充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」が53.4%と最も高く、次いで「福祉の充実など、人口減少社会でも安心して暮らせる地域を目指す取組」が46.3%、「農林・商工業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組」が42.5%となっています。



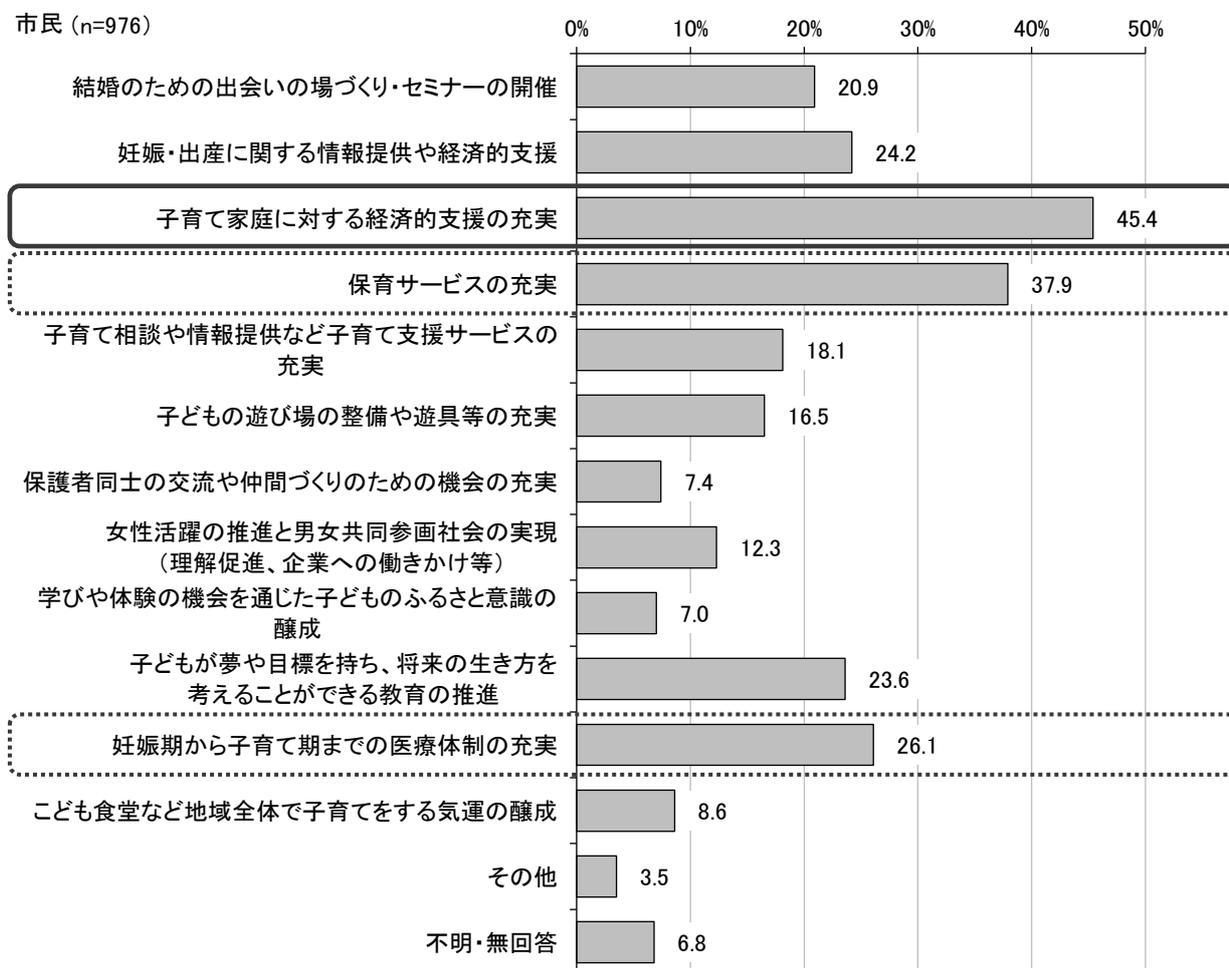
【南国市における雇用を増やすために尽力すべきこと】（複数回答）

「誰もが働きやすい労働環境への支援」が44.7%と最も高く、次いで「地産の農林産物等の付加価値の向上による農林産業の振興」が35.6%、「製造業等の企業誘致の推進」が32.7%となっています。



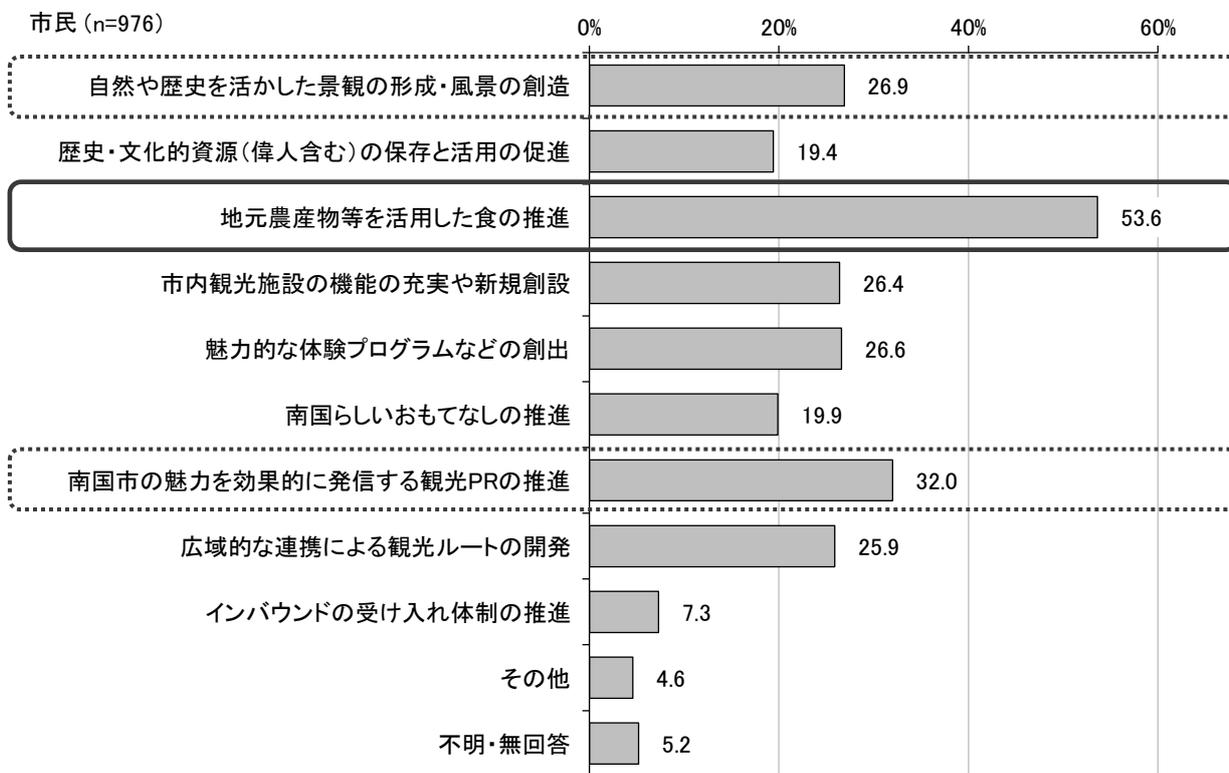
【南国市における子どもを産み育てる環境の充実に向けて尽力すべきこと】（複数回答）

「子育て家庭に対する経済的支援の充実」が45.4%と最も高く、次いで「保育サービスの充実」が37.9%、「妊娠期から子育て期までの医療体制の充実」が26.1%となっています。



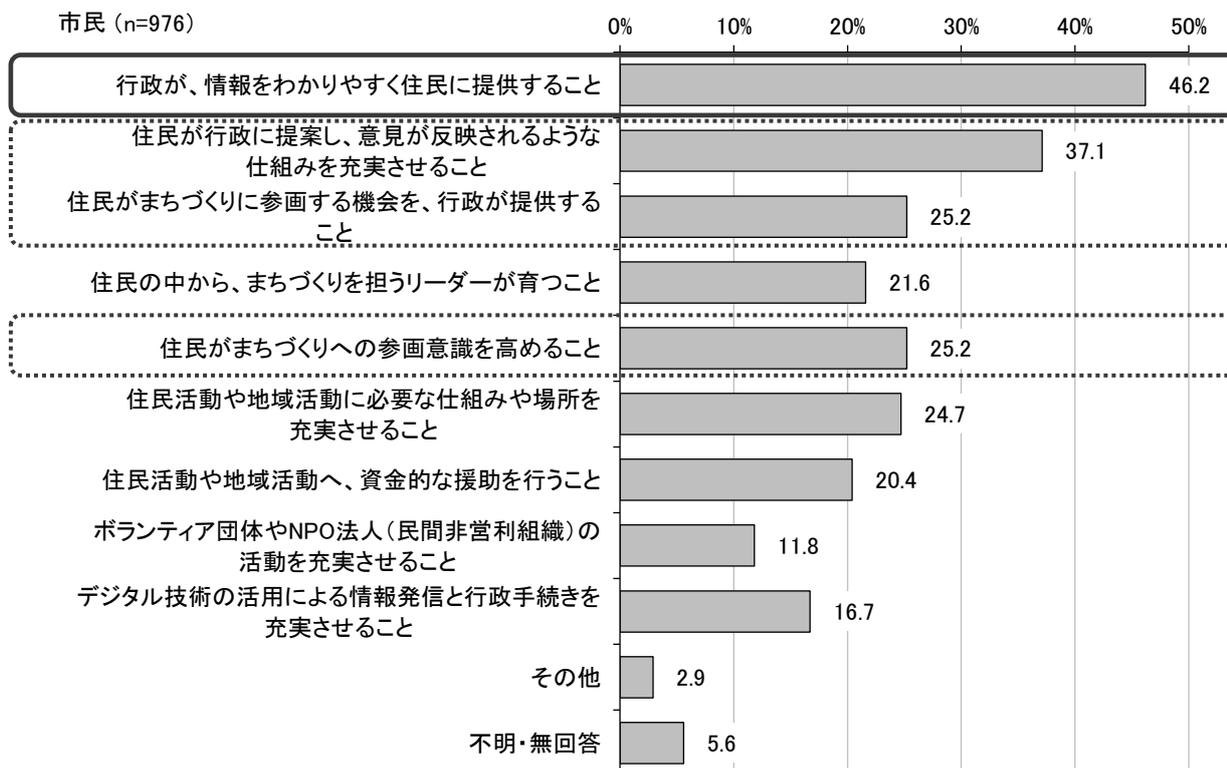
【南国市を訪れる人を増やすために尽力すべきこと】（複数回答）

「地元農産物等を活用した食の推進」が53.6%と最も高く、次いで「南国市の魅力を効果的に発信する観光PRの推進」が32.0%、「自然や歴史を活かした景観の形成・風景の創造」が26.9%となっています。



【まちづくりを推進するために必要なこと】（複数回答）

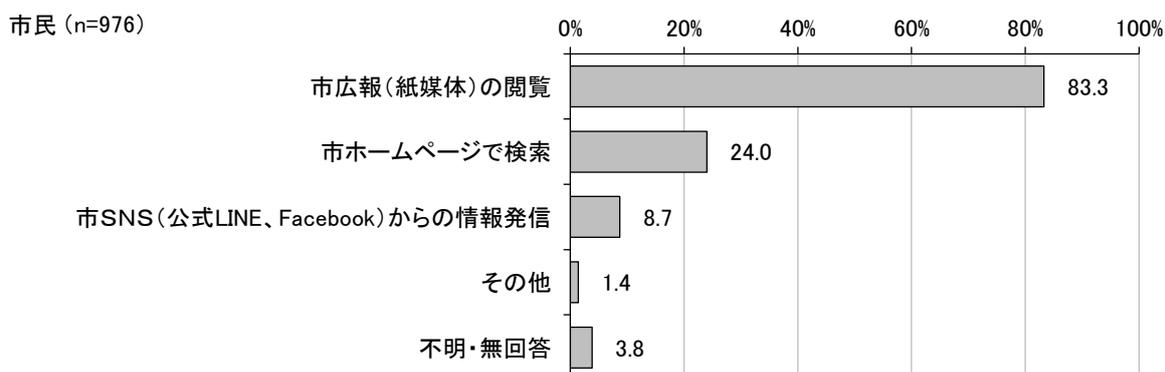
「行政が、情報をわかりやすく住民に提供すること」が46.2%と最も高く、次いで「住民が行政に提案し、意見が反映されるような仕組みを充実させること」が37.1%、「住民がまちづくりに参画する機会を、行政が提供すること」「住民がまちづくりへの参画意識を高めること」が25.2%となっています。



市役所の情報の入手方法（単数回答）

「市広報（紙媒体）の閲覧」が83.3%と最も高く、次いで「市ホームページで検索」が24.0%、「市SNS（公式LINE、Facebook）からの情報発信」が8.7%となっています。

年齢別にみると、すべての年齢で「市広報（紙媒体）の閲覧」が最も高くなっています。



6 その他 市民のまちづくりに関するご意見（自由記述）

○意見とりまとめ（男性）

※上位1項目網掛け

件数	農業	産業・商業	観光、PR	保健・医療	福祉	イベント・交流	防災・防犯	子育て・教育	道路・交通	市街地、住環境・生活環境	土地利用	自然環境	廃棄物処理・リサイクル	人口減少対策、定住・移住	公共施設	情報発信	行財政、行政への要望や施策	アンケート	その他
10代	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	1	2	-	-	1	-	-	2	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
30代	-	3	-	-	1	-	-	4	2	2	1	-	-	-	-	1	1	1	1
40代	-	1	2	1	-	1	1	3	2	2	-	-	1	1	1	1	4	1	1
50代	2	1	3	2	-	1	3	6	7	1	1	-	-	1	2	1	9	-	5
60代	1	1	2	-	1	-	1	-	4	2	-	-	-	1	2	1	3	1	-
70歳以上	-	8	2	-	-	2	3	-	5	4	3	4	-	5	2	2	7	1	2

○10代男性（全2件）

▶〈産業・商業〉〈市街地、住環境・生活環境〉に関する意見がそれぞれ1件ありました。

○20代男性（全10件）

▶〈産業・商業〉〈子育て・教育〉〈行財政、行政への要望や施策〉（各2件）などに関する意見が多くみられました。

○30代男性（全18件）

▶〈子育て・教育〉（4件）、〈産業・商業〉（3件）、〈道路・交通〉（2件）、〈市街地、住環境・生活環境〉（2件）などに関する意見が多くみられました。

○40代男性（全23件）

▶〈行財政、行政への要望や施策〉（4件）、〈子育て・教育〉（3件）などに関する意見が多くみられました。

○50代男性（全47件）

▶〈行財政、行政への要望や施策〉（9件）、〈道路・交通〉（7件）、〈子育て・教育〉（6件）などに関する意見が多くみられました。

○60代男性（全21件）

▶〈道路・交通〉（4件）、〈行財政、行政への要望や施策〉（3件）などに関する意見が多くみられました。

○70歳以上男性（全52件）

▶〈産業・商業〉（8件）、〈行財政、行政への要望や施策〉（7件）などに関する意見が多くみられました。

○意見とりまとめ（女性）

※上位1項目網掛け

件数	農業	産業・商業	観光、PR	保健・医療	福祉	イベント・交流	防災・防犯	子育て・教育	道路・交通	市街地、住環境・生活環境	土地利用	自然環境	廃棄物処理・リサイクル	人口減少対策、定住・移住	公共施設	情報発信	行財政、行政への要望や施策	アンケート	その他
10代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	-	2	-	-	-	-	-	4	1	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-
30代	-	1	-	1	2	-	4	8	5	5	2	1	1	-	1	1	3	-	4
40代	1	4	1	-	3	1	4	6	16	5	1	-	3	3	-	2	6	2	3
50代	-	5	-	2	1	1	2	3	13	5	4	1	1	1	-	1	6	1	2
60代	1	3	-	-	2	1	2	4	3	3	1	2	-	-	2	-	5	1	3
70歳以上	4	3	1	-	3	1	2	3	10	7	4	1	2	5	6	1	10	2	7

○10代女性

※意見なし

○20代女性（全12件）

▶〈子育て・教育〉（4件）、〈産業・商業〉（2件）、〈廃棄物処理・リサイクル〉（2件）、などに関する意見が多くありました。

○30代女性（全39件）

▶〈子育て・教育〉（8件）、〈道路・交通〉（5件）、〈市街地、住環境・生活環境〉（5件）などに関する意見が多くみられました。

○40代女性（全61件）

▶〈道路・交通〉（16件）、〈子育て・教育〉（6件）、〈行財政、行政への要望や施策〉（6件）などに関する意見が多くみられました。

○50代女性（全49件）

▶〈道路・交通〉（13件）、〈行財政、行政への要望や施策〉（6件）などに関する意見が多くみられました。

○60代女性（全33件）

▶〈行財政、行政への要望や施策〉（5件）、〈子育て・教育〉（4件）などに関する意見が多くみられました。

○70歳以上女性（全73件）

▶〈道路・交通〉（10件）、〈行財政、行政への要望や施策〉（10件）、〈市街地、住環境・生活環境〉（7件）などに関する意見が多くみられました。